

自治体ですすめる子どもの貧困対策

今年4月からこども基本法が施行され、こども家庭庁が発足しました。こどもまん中社会の実現に向け、国をあげてこども施策の拡充に動き出しています。今年中には、子どもの貧困対策を含めたこども大綱が策定予定であり、地方自治体でも、子どもの貧困対策計画の見直し、条例の制定など、議会主導でさらに実効性の高い対策が求められます。

第2回あすのば地方議員フォーラムでは、「やさしい社会を明石から」を掲げて「こどもを核としたまちづくり」を果敢に実践された前・明石市長の泉房穂さんによる基調講演、多様な主体によるパネルディスカッション、子ども施策の先駆的な事例報告などを企画しました。

子どもの貧困の解消に向けて超党派で地域を越えて地方議員のみなさんが学び合い、つながりに発展することを願っています。



【日時】 2023年**11月21日** (火) 10時～12時40分

【会場】 国立オリンピック記念青少年総合センター国際会議室
東京都渋谷区代々木神園町3-1

【定員】 会場80人 (Zoomによるオンライン同時配信)

【対象】 全国の地方議員

【参加費】 10,000円(会場・オンライン参加ともに同額です)

※関東甲信越ブロック集会参加の行政職員などのオブザーバー参加者は無料

【主なプログラム】

- 基調講演「こどもを核としたまちづくり」泉房穂さん (前兵庫県明石市長)
- パネルディスカッション「自治体施策をすすめるために」
パネラー 泉房穂さん／渡辺さとみさん(三重県桑名市議会議員)
李炯植さん(認定特定非営利活動法人 Learning for All代表理事)
コーディネーター 中塚久美子さん
- 先駆的な取り組み事例報告

●子どもの貧困対策 関東甲信越ブロック集会 14時～18時(同会場・参加費無料)

【主なプログラム】基調講演「子どもの貧困対策 自治体で取り組むべきことは」宮本みち子 放送大学・千葉大学名誉教授 (内閣府「子供の貧困対策に関する有識者会議」元座長)／パネルディスカッション「先駆的事例に学ぶ子どもの貧困対策」パネラー 埼玉県少子政策課、神奈川県川崎市児童家庭支援・虐待対策室、千葉県松戸市教育委員会の各職員／分科会

●意見交換会(懇親会) 18時30分～20時30分(同センター内「カフェフレンズ」・会費5,000円)

【主催】 子どもの貧困対策センター 公益財団法人 あすのば

〒107-0052 東京都港区赤坂3-21-6 河村ビル6F

お問い合わせ・連絡先 TEL(03)6277-8199 FAX(03)6277-8519

メール:info@usnova.org WEB:www.usnova.org

F A X
(送り状不要)

FAX 03-6277-8519

ウェブサイトからもお申しいただけます⇨

WEB www.usnova.org



自治体ですすめる子どもの貧困対策 第2回あすのば地方議員フォーラム 参加申込書

日時 2023年11月21日(火)10時～12時40分

会場 国立オリンピック記念青少年総合センター 国際交流棟国際会議室
渋谷区代々木神園町3-1 小田急線「参宮橋」駅下車 徒歩7分
オンライン(Zoom)参加も受け付けます

会場参加 / オンライン参加

地方議員フォーラム 10時～12時40分(参加費1万円)

関東甲信越ブロック集会 14時～18時(参加費無料)

意見交換会(懇親会) 18時30分～20時30分(参加費5千円)

前泊【20日(月)】希望 同センター内宿泊D棟(個室シングルルーム)1泊3,700円(先着順)

後泊【21日(火)】希望 同センター内宿泊D棟(個室シングルルーム)1泊3,700円(先着順)

ふりがな
お名前

ご所属・お肩書

ご住所 〒

電話

FAX

E-mail



子どもの貧困対策法成立から満2年を迎えた2015年6月19日に、子どもの貧困対策センター「あすのば」は設立し、8年となりました。

あすのばの事業は、①調査・研究とそのデータなどに基づいた政策提言、②全国の支援団体への中間支援、③物心両面での子どもたちへの直接支援の3つの柱です。これまでに、高等教育無償化・子どもの貧困対策法改正・大綱改定・コロナ禍での低所得子育て給付金などの政策提言が実現。47都道府県での「子どもの貧困対策全国キャラバン」の実施(4,333人参加)、「入学・新生活応援給付金」の支給(2万2,429人に8億7,816円給付)などの事業をすすめてきました。

また、もう一つの大きな特徴は、子どもがど真ん中。「センター」のポジションとして、孤立し声を出せない子どもたちの声も大切に作る運営に務めています。全国各地の子ども・若者委員が中心となり、子ども・若者の声を直接、政治や行政に伝え、さまざまな政策の実現につなげています。今年3月には、国会内で5人のあすのばの若者たちと小倉将信・こども政策担当大臣(当時)、田村憲久・子どもの貧困対策推進議連会長はじめ与野党の国会議員が車座で対話をしました。